



HPはこちら

9月20日、秋田新幹線車両センターにおける 業務執行体制の見直しに関する団体交渉を開催！

超勤や休勤は社員のレベルアップで減少する！？

- トライアルについて冬期を考慮した検証を行わなかった理由を明らかにすること
 - ・摩耗品数や絶縁不良数など、夏期、冬期で過去1番「数」が多かった検査実績をベースにトライアルを実施した。冬期を考慮しなかった訳ではない。
- 交番検査を担当する新入社員や転入者などに対する教育方針を明らかにすること
 - ・教育は今までのやり方と変わらない。新入社員については基礎教育を行い、その後ユニット担当とOJTを行う。OJTの回数は社員によって違うが、必要な教育を行っていく。
 - ・業務執行体制の変更により、今まで以上にOJTがしやすくなることもあると考えている。
- 臨時修繕が発生した場合も考慮した出勤数としているのか明らかにすること
 - ・臨時修繕の対応はこれまでと変わるものではない。区所の全社員で対応していく。
 - ・業務に必要な要員は確保していく。
 - ・ダイヤに影響が出ないことを加味した出勤数としている。出勤を増やすことは考えていない。
 - ・超過勤務や休日出勤を解消していく努力は必要であるが、将来的に社員個々の能力がレベルアップすれば超過勤務や休日出勤は減ると考えている。
- 機器箱浸水や磨耗品凍結などの臨時修繕が発生した場合の作業担当者を明らかにすること
 - ・機器箱浸水→保安担当から総括担当が対応
 - ・磨耗品凍結→区所の全社員で対応
 - ・9月30日に現車を使用して手順の「思い出し」を行う。また、10月3日に全ユニットによる手順の「思い出し」を行う予定である。社員が不安を抱えたまま作業はできないことから、会社としてフォローしていく。

お客さまに安全・安定した新幹線ダイヤを提供できるのか
お客さまに快適な新幹線車両を提供できるのか
超過勤務ありき、休日出勤ありきの風土はないか



職場からお客さま視点と働く者の視点で検証していこう！